

阿久根市における観光開発の 可能性等に関する調査報告

2020年3月

HKR Japan 株式会社
鹿児島県 阿久根市

1. 調査の趣旨等について	P1
2. 現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性について	P2
○ 地理的状況	
○ 観光資源的状況	
3. 状況の改善方策について	P9
○ 地理的状況	
○ 観光資源的状況	
4. 考察とまとめ	P11
5. 参考資料	P14

1. 調査の趣旨

- 阿久根市における観光開発の可能性調査等に関する連携協定書(以下「本協定書」という。)に基づき、阿久根市の将来にわたる観光振興をはじめとした地域活性化及び旧国民宿舎跡地活用の方法を模索するもの

2. 調査の概要

【期間】

平成30年11月7日～令和2年3月24日

【調査内容】

- ・ 旧国民宿舎跡地の宿泊施設の誘致・整備の可能性について
- ・ 阿久根市の観光振興の方向性

現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性①

【現時点の結論】

- 阿久根市の現状を客観的に判断すると、旧国民宿舎跡地の土地に単純に宿泊施設を建設しただけでは、地域活性化につながる活用は十分にできないと思われる。
- 全国にある他の観光地に比べ、また九州の他の観光地と比較したとしても、現段階では、阿久根市に①長い時間をかけて、②宿泊を目的として訪れるだけの魅力があるとは言い難く、現状の阿久根市に宿泊施設を建設したとしても、その宿泊施設が事業として継続し得るだけの「事業性」は期待できない。

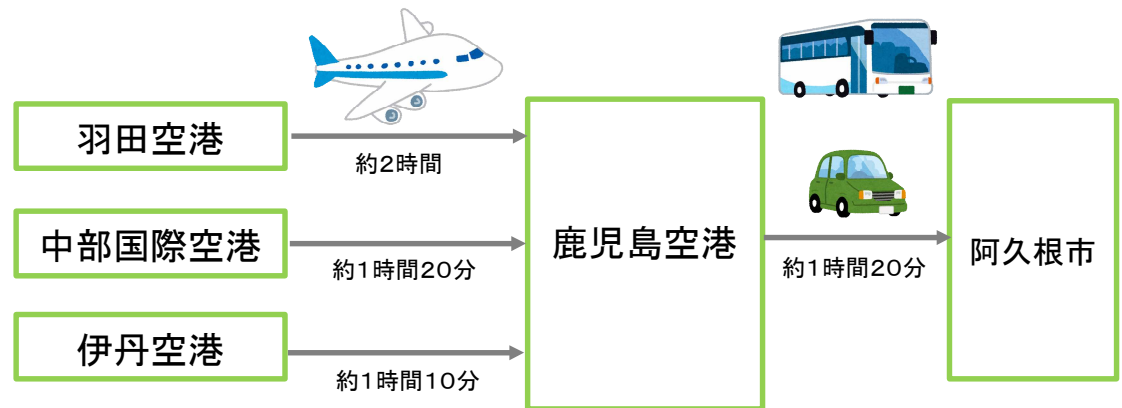


現段階での旧国民宿舎跡地への単純な宿泊施設の誘致・整備は難しいと考えられる。

また現段階でHKRJapan株式会社が旧国民宿舎跡地に宿泊施設を直接整備する予定はなく、引き続き宿泊施設を整備・運営する事業主体の誘致に市とHKRJapan株式会社が連携して取り組むこととする。

上記の理由1：地理的状況

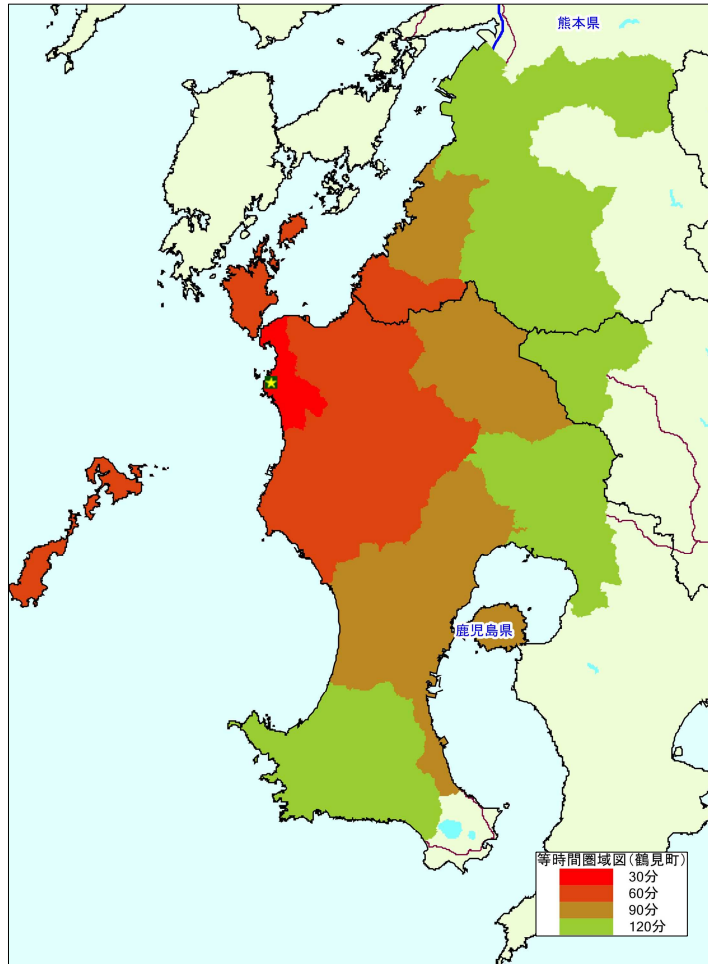
全国をマーケット対象とした場合、主要都市からのアクセス等の利便性が低いこと



→ 鹿児島空港へは日本の主要都市及び近隣アジアの主要都市から航空便が運行されているものの、鹿児島空港から本市へアクセスする手段は、車とシャトルバスに限られており、その移動時間は1時間20分程度かかる。

現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性②

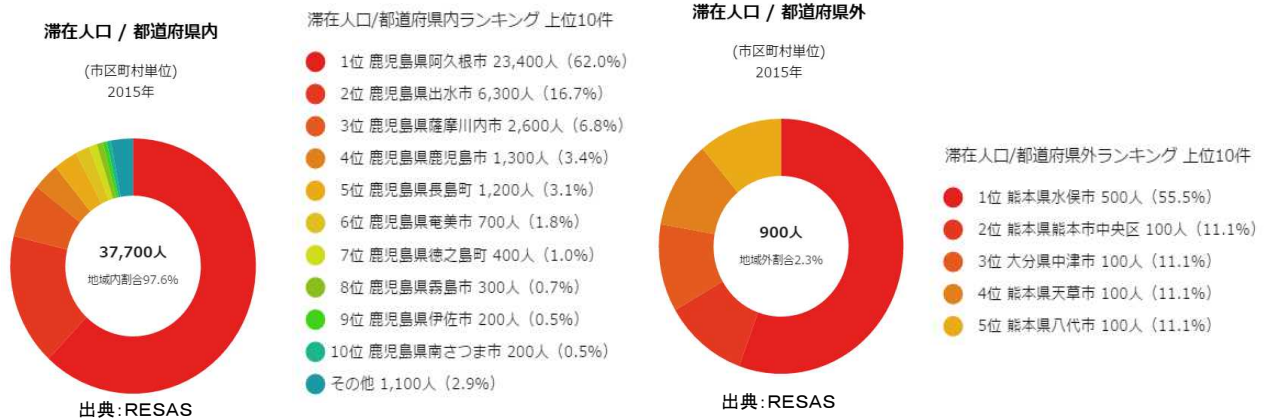
上記の理由1: 地理的状況



出典: 全国総合交通分析システム (NITAS) ver. 2.5

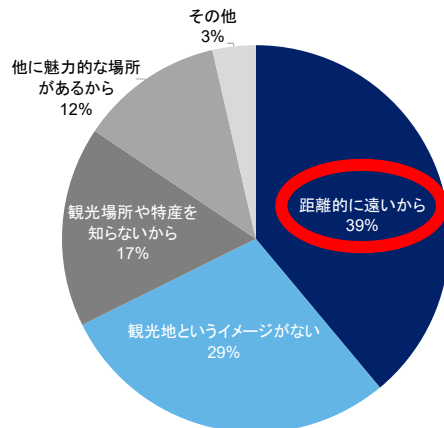
→ 本市の120分圏域人口は概ね **148万人**

阿久根市の休日平均滞在人口(市町村→市町村)



→ 本市への来訪者のほとんどは、近隣エリアの出水市や薩摩川内市からである。

阿久根市を訪問しない理由(鹿児島市在住者500名対象web調査)



→ 阿久根市を訪問しない理由として「距離的に遠いから」が最も多い回答となっている。

出典: 阿久根市観光まちづくり戦略(平成29年3月)

現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性③



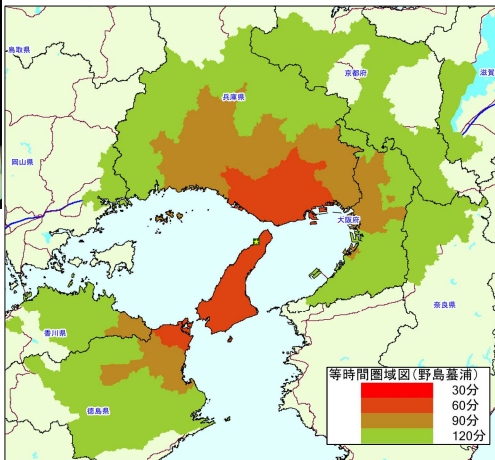
一方で、国内や九州の主要な観光開発事例では、当該地へ120分でアクセスできる人口(いわゆる「120分圏域人口」)は概ね数百万人～数千万人となっている。

【事例1:パソナグループ観光施設(兵庫県淡路市)】

- ・ 淡路島北西部で展開する観光施設
- ・ 年間来場者数17万人を誇る食・農・学・芸をテーマにして廃校を活用した施設「のじまスコラ」もある
- ・ 120分圏域人口は概ね1,879万人



のじまスコラ公式HPより



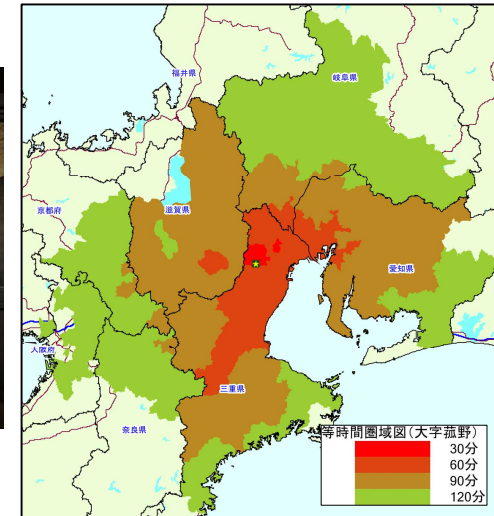
出典: 全国総合交通分析システム (NITAS) ver. 2.5

【事例2:アクアイグニス(三重県菟野町)】

- ・ 食と癒しがテーマのリゾート複合施設
- ・ 年間来場者数は110万人
- ・ 120分圏域人口は概ね2,327万人



アクアイグニス片岡温泉公式HPより



出典: 全国総合交通分析システム (NITAS) ver. 2.5

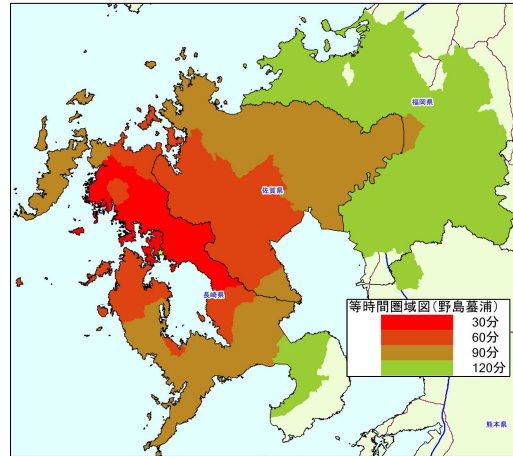
現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性④

【事例3:ハウステンボス(長崎県佐世保市)】

- ・ オランダの街並みを再現したテーマパーク
- ・ 年間来場者数は272万人(参考:産経ニュース2019.7.10)
- ・ 120分圏域人口は概ね495万人



ハウステンボス公式HPより



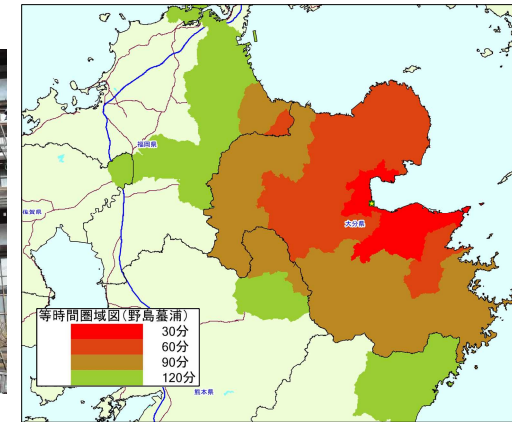
出典:全国総合交通分析システム(NITAS)ver.2.5

【事例4:大分県別府市】

- ・ 世界有数の温泉保養地
- ・ 年間観光客数は881万人(参考:平成29年度別府市観光動態要覧)
- ・ 120分圏域人口は概ね251万人



「竹瓦温泉」別府市HPより



出典:全国総合交通分析システム(NITAS)ver.2.5

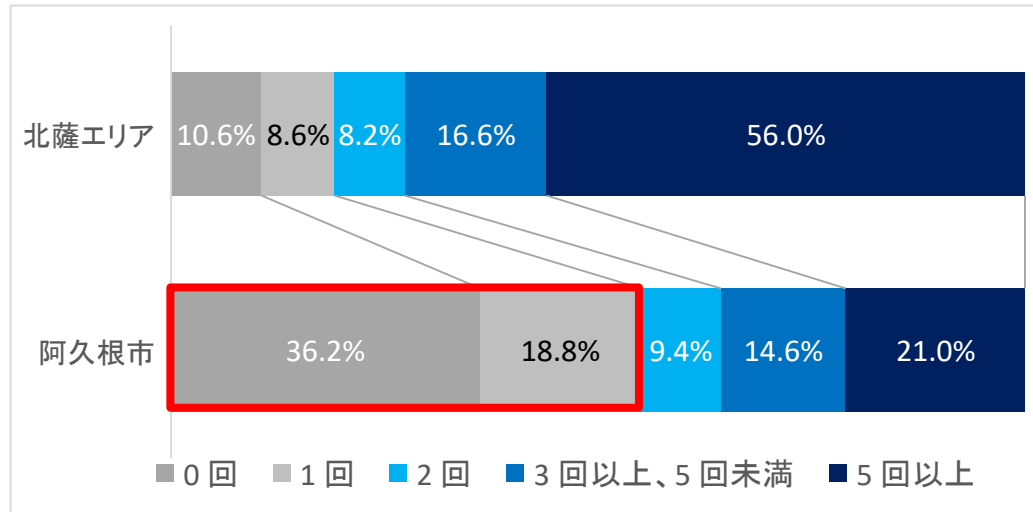
現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性⑤

上記の理由2: 観光資源的状况

→ 自然資源については、阿久根市の海産物・農産物は非常に豊富であり、十分な観光資源となり得るといえるが、他の九州主要観光地(博多、長崎ハウステンボス、大分別府など)と比較すると、その訴求力が乏しく思われること

○北薩エリア・阿久根市への訪問経験(鹿児島市在住者500名対象web調査)

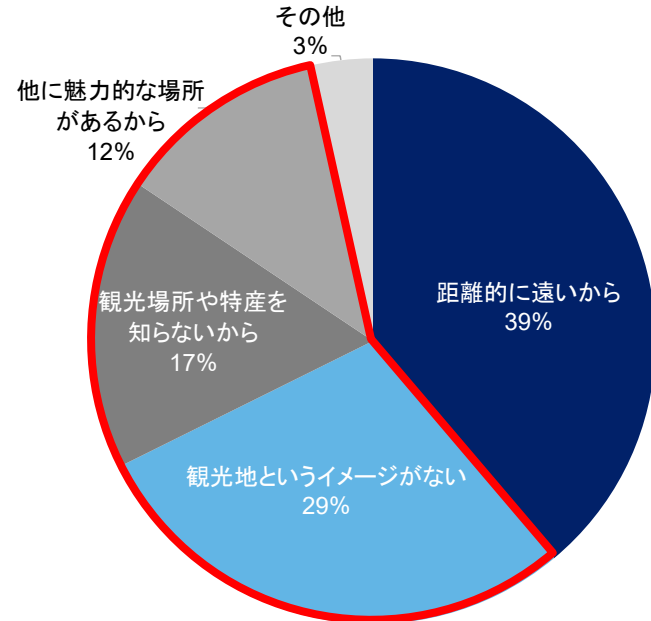
○阿久根市を訪問しない理由(鹿児島市在住者500名対象web調査)



出典: 阿久根市観光まちづくり戦略(平成29年3月)



北薩エリアへの訪問経験は5回以上が半数を占めるが、阿久根市への2回以上の訪問経験者は多くなく、経験がない(0回)及び1回が全体の半数以上を占めている。



出典: 阿久根市観光まちづくり戦略(平成29年3月)



「観光地というイメージがない」「観光場所や特産を知らないから」「他に魅力的な場所があるから」という回答だけで、全体の約6割を占めている。

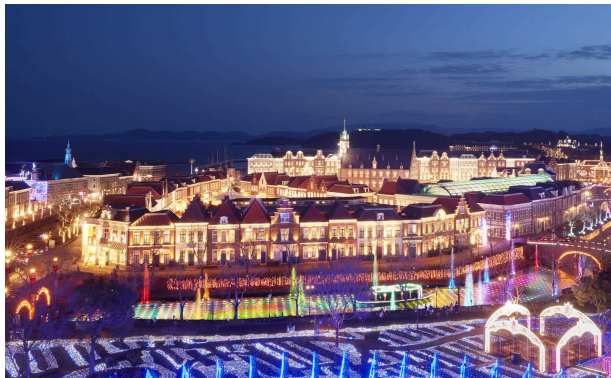
現段階における宿泊施設の誘致・整備の可能性⑥



一方で、国内や九州の主要な観光開発事例では、それぞれの地域にある「観光資源」を充実させ（いわゆる「+アルファのコンテンツ」の充実を図り）、宿泊施設を含めた観光地の魅力を高めている。

【事例1:ハウステンボス(長崎県佐世保市)】

- ・ オランダの街並みを再現したテーマパーク
- ・ VR・ライトニング・IT技術等を駆使し、既存コンテンツのバリューアップを図っている



ハウステンボス
公式HPより

【事例2:パナソニックグループ観光施設(兵庫県淡路市)】

- ・ 淡路島にて観光施設を複数展開
- ・ 既存の豊富な農産資源に、二次元のコンテンツを組み合わせることで、差別化を図っている



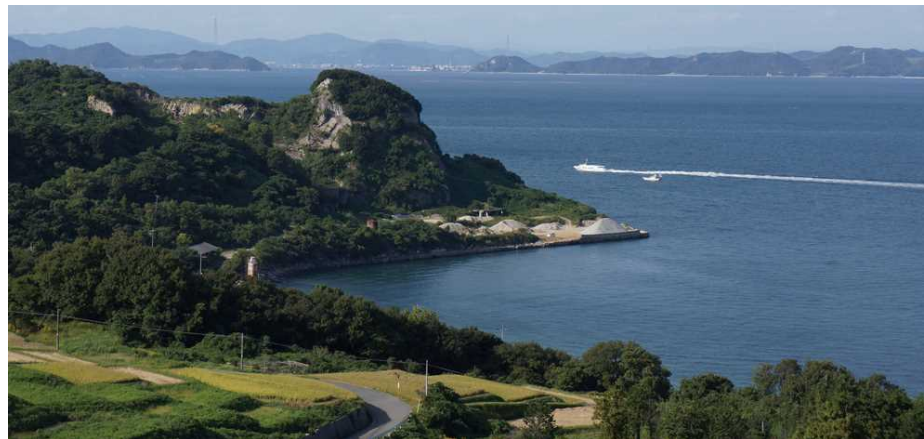
HELLO KITTY SMILE
公式HPより



ニジゲンノモリ
公式HPより

【事例3:瀬戸内国際芸術祭(岡山県宇野市、香川県小豆島町など)】

- ・ 瀬戸内海の島々で3年に一回開催させる芸術祭と関連した芸術施設
- ・ “芸術”のイメージを使うことで、風光明媚な島々に魅力的なエッセンスを加えている



状況の改善方策について①

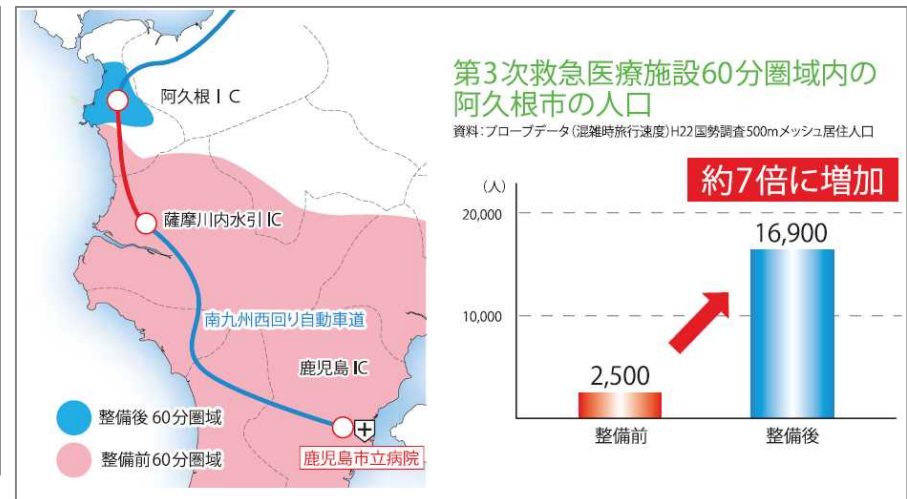
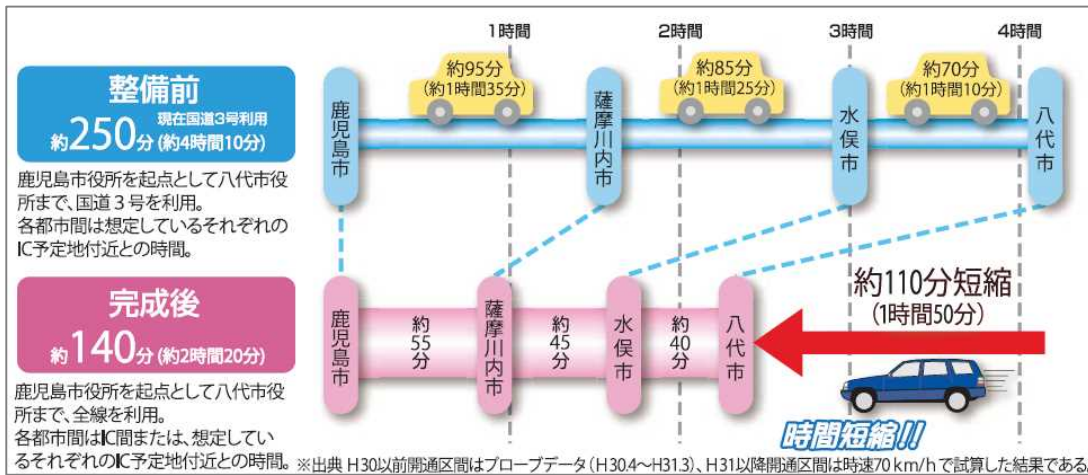
【今後の方向性】

- これまで、阿久根市における「地理的状況」「観光資源的状況」について述べてきたが、これらを改善することにより、阿久根市の観光振興及び旧国民宿舎跡地の宿泊施設の誘致・整備の可能性を高めることができる。
- そこで、以下、「地理的状況(主要都市との時間距離の短縮等)」「観光資源的状況」のそれぞれの改善策について述べる。

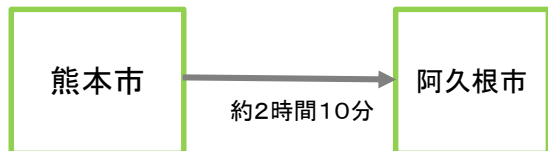


地理的状況(主要都市との時間距離の短縮等)の改善策

- 現在進捗している南九州西回り自動車道整備により大幅に改善される見通しである。
- 南九州西回り自動車道の整備により、新たに熊本市(人口約74万人)等も阿久根市からの120分圏域人口に含まれることになる。



2019年11月現在の交通状況



- ・ 阿久根市～出水市、水俣市～八代市は南九州西回り自動車道を経由
- ・ 八代市～熊本市は九州自動車道を経由
- ・ 出水IC～水俣ICは未整備であり、国道3号を経由した場合の時間であるため、**全線開通後はさらに時間が短縮される**

→ 鹿児島市～阿久根市は約60分での移動が可能

状況の改善方策について②

観光資源的状況の改善策

- 現状の豊富な自然資源を活かす「コンテンツ」の導入の検討

アプローチの方向性

後述の先進地視察で意見交換を行ったアクアイグニス社との協働による、西回り自動車道整備に合わせた面的開発

- ・ 現在アクアイグニス社が行っている各地域での開発(29～35ページを参照)を鑑みると、インターチェンジをハブとして車での観光客流入を大いに期待でき、阿久根市の観光振興に非常に有益だと考えられる。
- ・ また、地元の食材や泉源などの地の資源をメインに、一流料理人による監修やアーティスティックなテーマ性のある空間演出を行うことで訪問客に特別な体験を提供しており、阿久根市が誇る豊富な自然資源をより魅力的なものとするために有効な手段と考えられる。
- ・ しかし、アクアイグニス社の宿泊施設等の立地方針として、「高速道路付近であることと二次交通が整備されていること」という事項があるので、今後数年間をかけて検討していく事項であると考えられる。



【今後の方向性:考察とまとめ】

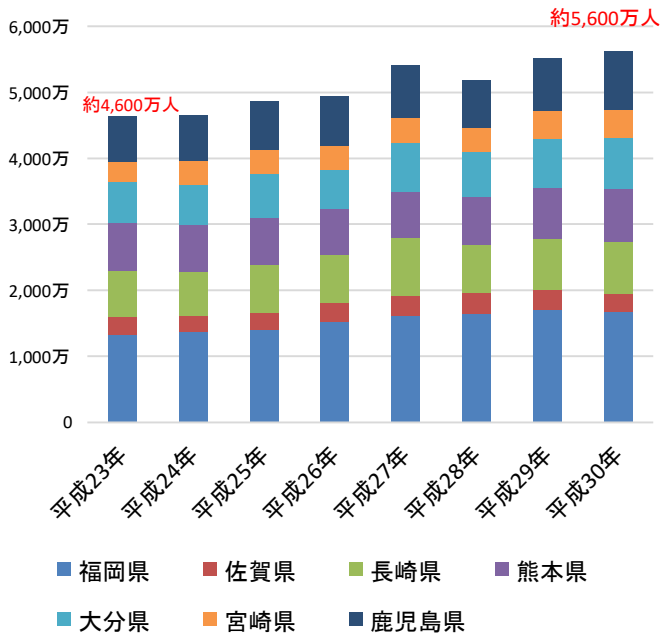
- 今後の阿久根市の観光振興及び旧国民宿舎跡地の活用としては、単純に旧国民宿舎跡地での開発を検討すべきではなく、まずは阿久根市全体の面的開発を熟考したうえで、行うべきであると考えられる。
- 「面的開発の熟考」とは、これまで述べたようなコンテンツの導入による観光資源の洗練・充実を図り、阿久根市が観光客にとっての「目的地」となるよう、その魅力を上げる方法を考えていくということである。
- それらが無いまま、旧国民宿舎跡地開発のみに費用・時間をかけたとしても、本来目的とする将来的な、阿久根市の観光振興ないし、地域活性化を図ることは期待できないと考えられる。

考察とまとめ②

【どういったコンテンツを導入するかを検討に当たっての留意点：ターゲット設定】

- 現在九州への観光客の増加は著しく、特にJR九州による“ななつ星特急”また長崎ハウステンボスによるコンテンツ提供型施設など富裕層へのアプローチが大きく寄与していると思われる。
- 実際に、インバウンド客の増加は目を見張るものがあり、とくにクルーズ船客数は福岡だけでも著しく増加（H25→H29年約30倍に増加）しており、その足跡が福岡—大分—熊本と浸透してきている。すでに、かつては日本人富裕層だけであった由布院でも、街中ではアジア人で溢れている。
- よって、このような観光動向を適格に把握し、どういった観光客に来訪してほしいかというターゲット設定も踏まえて、阿久根市へのコンテンツ導入を考えることも大切である。

〈九州本土における延宿泊者数の推移〉



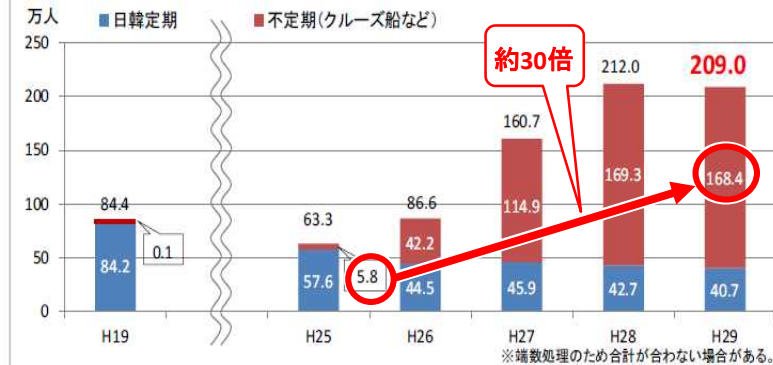
参考：観光庁「宿泊旅行調査(平成30年1月～12月分)」

〈2013～2018年 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数〉



出典：国土交通省港湾局産業港湾課「資料2 2018年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数及び訪日クルーズ旅客数について(確報)」

〈博多港における外国航路船舶乗降人数の推移〉



出典：博多港・福岡空港の概況(平成30年3月福岡市港湾空港局)

考察とまとめ③



- 前述のとおり、アクアイグニス社は一次的に近郊からの来訪者を確保し、二次的にはインバウンド客の獲得に及ぶ可能性のあるものである。
- また、人材派遣会社・パソナ社が淡路島で運営拡大している農業活性化に紐づいた食とアニメコンテンツの融合例も一つの参考事例になると考えられる(17~28ページ参照)。今後、このような他府県に見られる多岐にわたる開発事例を研究、検討することにより、阿久根市の発展に繋げていくことができると考える。



〈 現段階で阿久根市が考えている「面的開発」のイメージ 〉

【旧国民宿舎跡地施設の開発コンセプト】

九州圏内の地元企業が主となって、「ウェルネスツーリズム」という旅先でスパ、フィットネス、レクリエーションなどを通して、心と体の健康を保とうとするニーズに応える施設の整備

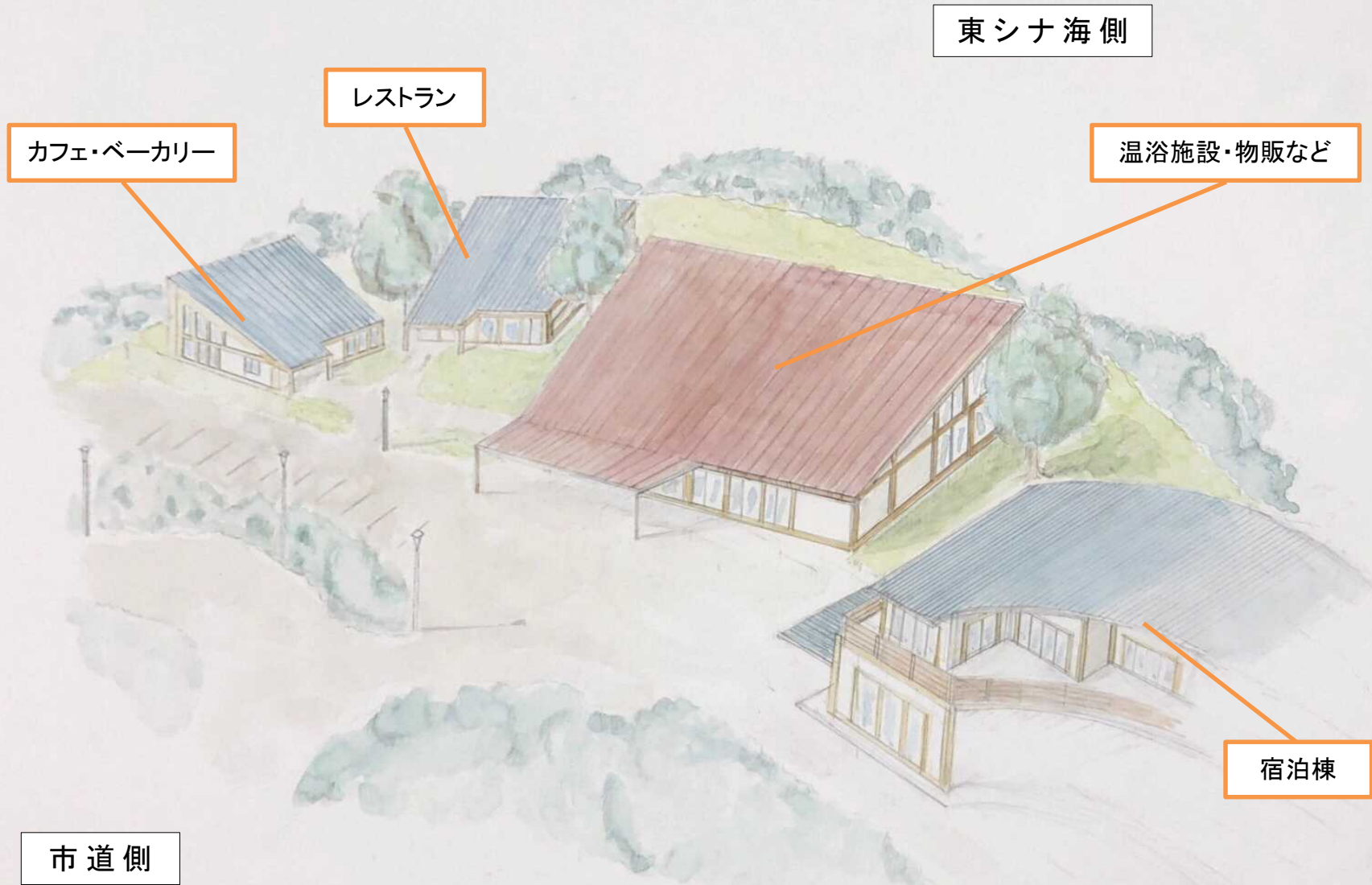
【来訪者に提供したい阿久根の魅力】

- 東シナ海の豊かな魚場から阿久根港に水揚げされる、イワシ、サバ、アジなど合計約150種類の新鮮な魚介類を、漁港からわずか5分であるアクセスを活かして、一流料理人の監修等により、国内外からの来訪者に楽しんでいただきたい。
- 和牛・日本一になった鹿児島黒毛和牛のうち、阿久根では「華鶴和牛」として特に肉質の良いものをブランド化。阿久根市内に食肉加工場(スターゼンミートプロセッサー(株)阿久根工場)を有しており、「華鶴和牛」をはじめ新鮮な黒毛和牛を一流料理人の監修等により、国内外からの来訪者に楽しんでいただきたい。
- 旧国民宿舎跡地付近は、東シナ海に沈む幻想的な夕陽のスポットでもある。美しい夕陽を見ながらスパやフィットネスでゆったりとした「非日常空間」を楽しんでいただきたい。
- 主に長期滞在者向け(インバウンドを含む)に、その他のアクティビティとして、
 - ・ 漁港からわずか10分に位置する「阿久根大島」へクルーザーで移動して、キャンプや海水浴、シュノーケリング、BBQなどを体験
 - ・ 旧国民宿舎跡地からわずか5分に位置する「番所丘公園」では、キャンプやBBQなどを体験
 - ・ 真っ白い砂浜と約3キロの長い海岸線を有する「脇本海水浴場」では、海水浴やサーフィン、パドルボードなどのマリレジャーを体験

【阿久根市のねらい】

- 交流人口増による地元雇用の創出
- 地元産品の消費拡大を通じた地域経済の浮揚

～旧国民宿舎跡地施設イメージ図①（全体）～





～旧国民宿舎跡地施設イメージ図②（宿泊）～



參考資料

阿久根市の将来にわたる地域活性化 のための先進地視察(報告)

平成31年3月16日(土)~18日(月)

阿久根市財政課
財産活用推進係

1 兵庫県淡路市

行政や地域と連携した民間事業者による地方創生の取組

➤実施主体：株式会社パソナグループ

2 三重県菰野町

食と癒しがテーマの複合リゾート施設

➤実施主体：株式会社アクアイグニス

【兵庫県淡路市】行政や地域と連携した民間事業者による地方創生の取組

淡路島について

○淡路島の概要

- ・兵庫県淡路市，洲本市，南あわじ市の3市で構成
- ・人口：約14万人
- ・面積：596km²
- ・産業：農漁業，観光業，製造業，地場産業（線香，瓦等）
- ・明石海峡大橋と大鳴門橋で本州・四国に接続しており，阪神淡路鳴門自動車道が整備されている。
- ・徳島から車で20分，神戸から車で30分（大阪～神戸 電車30分）



【兵庫県淡路市】行政や地域と連携した民間事業者による地方創生の取組

あわじ環境未来島構想

○「国生みの島」「御食国」と呼ばれ歴史、自然、食など豊富な地域資源に恵まれた淡路島で、①暮らし、②エネルギー、③農と食という3つの観点から、持続可能な地域社会モデルを住民、NPO、企業、行政が一緒になって生み出していこうとする取組

○淡路島の強み

- ・「国生みの島」を誇りとして、農漁業を軸に積み重ねられた独自の知恵・文化
⇒歴史的・文化的価値の蓄積
- ・高い食料自給率、温暖で豊富な日照、広大な未利用地が多数存在
⇒エネルギーと食の自給自足が可能
- ・京阪神大都市に隣接している
⇒良好なアクセス



○「③農と食の持続」の取組のひとつとして、(株)パソナグループが就農支援を行う仕組みづくり(チャレンジファーム)と廃校を活用した6次産業化モデル施設(のじまスコラ)を設置・運営している



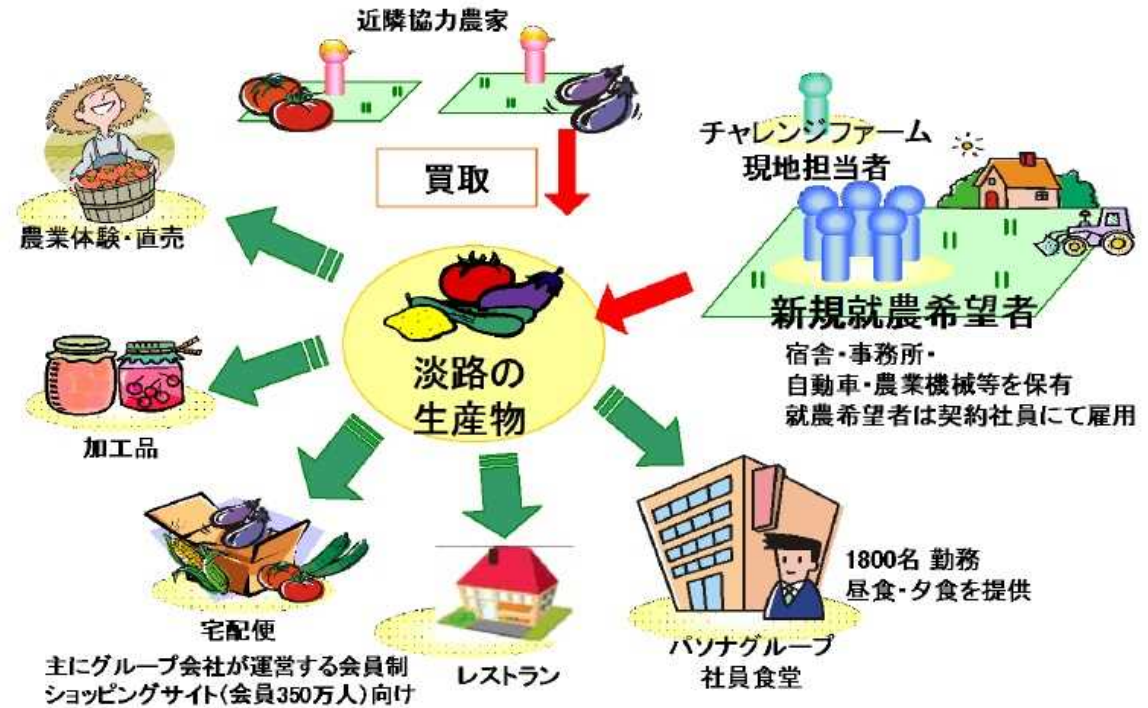
出典: あわじ環境未来島 (<https://www.awaji-kankyomiraijima.jp>)

【兵庫県淡路市】行政や地域と連携した民間事業者による地方創生の取組

「チャレンジファーム」による人材育成

- ・ (株)パソナグループが開設
- ・ 新規就農希望者を最長2～3年間の契約社員として雇用する
- ・ 淡路市野島地区の遊休農地をフィールドとして、事業計画の作成、栽培品目の選定、生産・販売方法の企画、栽培管理・収穫・出荷など、農業経営の実践を通じて就農支援を行う
- ・ 県や淡路市が協働して農地の斡旋及び農業技術の指導等を行う
- ・ 生産した農産物の直売、加工、カフェやレストランでの提供を行う6次産業化のモデル施設及び地域活性化の拠点施設として、廃校した小学校を利活用（のじまスクーラ）

- 1年目: 農業の基礎的な知識・技術を身につけ、独立に向けたプランを構築。同地域との交流により地域農業の理解を深める。
- 2・3年目: 事業運営を実践。1年目で作成したプランを実行し、独立に備える。農業経営の知識をより深める。独立後の販売先を開拓する。
- 4年目: 独立就農



出典: あわじ環境未来島 (<https://www.awaji-kankyomiraijima.jp>)

淡路島におけるパソナグループの取組

○パソナグループは、独立就農を支援する「チャレンジファーム」を皮切りに、淡路島北西部において独自に一体的な開発を行い、人材誘致による地方創生事業を展開している。

※下記資料は平成31年3月視察時点での内容であり、令和2年3月時点では新たにシアターレストラン(HELLO KITTY SHOW BOX)やイタリアンレストラン(GRAB COSTA ORANGE)などがオープンしている。

【パソナグループ島内MAP】

人気アニメ・マンガと自然が融合した
体験型エンターテインメントアニメパーク
『ニジゲンノモリ』

シーサイドマーケット&レストラン
『クラフト サークス』

創作オリエンタルレストラン
『HELLO KITTY SMILE』

淡路島の食材にこだわった料理を提供
森の隠れ家レストラン『モリノテラス』

星降る丘のグランピング施設
『GRAND CHARIOT-北斗七星135°-』

絶景のオーシャンビューと淡路ビーフを楽しむ
グリルレストラン『オーシャンテラス』

廃校になった小学校をリノベーション
マルシェ×レストラン『のじまスコアラ』

原切の男える湘風のテラス
ハチミツ カフェ (miele)

scuola

淡路島におけるパソナグループの取組

のじまスコーラ／ミエレ

- ・ 2010年に廃校となった旧野島小学校をリノベーション
- ・ チャレンジファームでの農作物をレストランで提供したり，二次加工したりするための6次産業化モデル施設
- ・ 地元住民の交流の場（校庭を活用した地域行事など）
- ・ 2014年に姉妹店ミエレがオープン後，来場者数は年間24万人を誇る



ミエレ（イタリア語で「はちみつ」）
地元食材とはちみつを合わせた料理を
提供する海沿いのカフェ



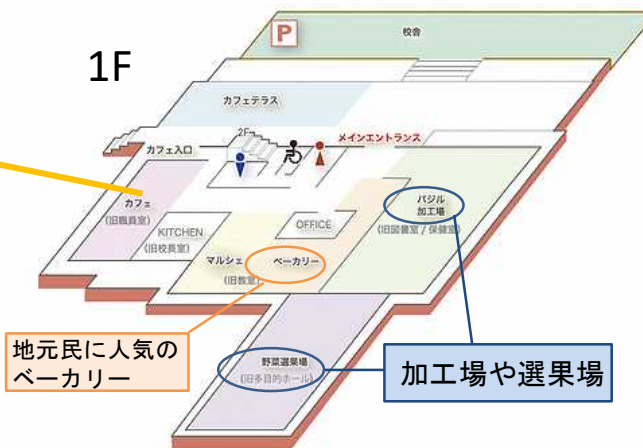
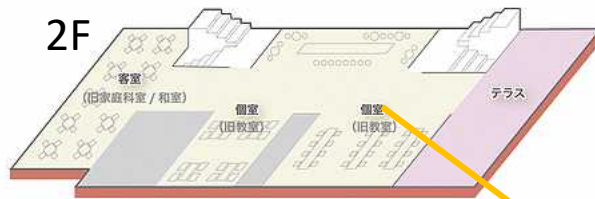
のじまスコーラ
（スコーラはイタリア語で「学校」）



淡路島におけるパソナグループの取組

のじまスコーラ

- ・ キーワード「農・食・学・芸」
- ・ レストラン, カフェで地元の食材を使用した料理を提供
- ・ バジルの加工場や野菜の選果所を併設
- ・ おしゃれな特産品販売所で淡路土産も購入できる
- ・ 地元の人も気軽に訪れる



農 食

←オーシャンビューのテラスでBBQを楽しめる

学 芸

理科室を料理教室に、音楽室をキッズスペースや雑貨販売に活用 →



農 食

←淡路島の新鮮な野菜のサラダバーが人気のカフェ

農 学

地元産やチャレンジファームの野菜, 特産品が並ぶマルシェ



←有名シェフプロデュースの本格イタリアンが楽しめる

農 食

個室利用もできるラグジュアリーな空間 →



淡路島におけるパソナグループの取組

ニジゲンノモリ

- ・兵庫県立淡路島公園内にあるアニメパーク
- ・敷地面積約134.8ha
- ・入園無料
- ・神戸淡路鳴門自動車道から直結する淡路ハイウェイオアシスに入口を有する
- ・自然×アニメ×テクノロジー
- ・園内にアトラクション、ショップ、飲食店、宿泊施設を併設
- ・兵庫県による公募で「淡路マンガ・アニメアイランド事業」が採用される
- ・パソナグループは占有料及びアトラクションなどの維持管理費を負担
- ・公園管理費は県が負担

※H31年3月時点

ABOUT ニジゲンノモリとは？

アニメや漫画など“二次元コンテンツ”の世界観を、
広大な野外環境の中で存分に体感できる、
純日本産のアニメパークです。
作品の中へと迷い込んだ錯覚を起こす
幻想的なアトラクションや、
世界観を踏襲したアクティビティなど、
ここでしか味わえない
“二次元体験”をお届けします。

**NARUTO BORUTO 「忍里」
2019年春 降臨!!**

**NIGHT WALK
火の鳥 HINOTORI**
NIGHT TIME
夜の森、全長1.2kmの
光と音のショー。

**GRAND CHARIOT
グランピング**
小高い丘の上にあるグランピング施設は、目の前に緑と海が広がる絶景。夜は満天の星をご覧いただけます。

ALL TIME
子どもから大人まで楽しめる
体験アトラクション!

アニメ×自然
アニメや漫画などの世界観を、広大で自然豊かな野外環境を最大限に活用して実現しました。

淡路島におけるパソナグループの取組

ニジゲンノモリ

○キャラクターアトラクション

- ・クレヨンしんちゃん，NARUTOなどの人気作品とのコラボ
- ・アトラクションごとに利用しやすい料金設定
- ・アプリとの連携で遊ぶラリーゲーム
- ・子どもから大人まで幅広い層で楽しめる
- ・アニメをテーマに新たな公園利用者を取り込み，淡路島の豊かな自然環境や食文化等の魅力を体験してもらう

↓ 難易度別の巨大アスレチック (有料)



↑ 水上を渡るジップライン (有料)

↓ 園内にある様々な模型 (ラリーゲーム/無料)

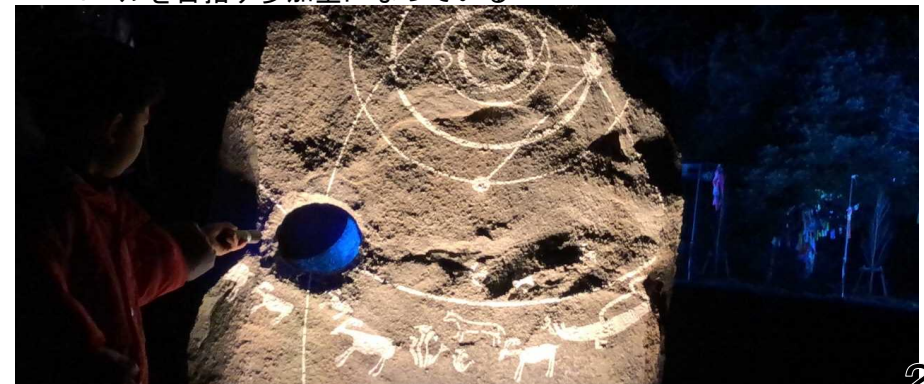


○ナイトウォーク火の鳥

- ・日没後の夜の森を歩くアトラクション
- ・(株)NAKEDによるプロジェクションマッピング
- ・森の木々や岩などに投影し，幻想的な世界観
- ・60分～90分のコース設定



↓ 全長 1.2 km の要所ごとにスタッフが配置され，謎解きしながらゴールを目指す参加型になっている



淡路島におけるパソナグループの取組

グランシャリオ北斗七星135°

- ・兵庫県立淡路島公園内にあるグランピング施設
- ・県立公園の自然に囲まれ，秘境感が漂う
- ・ヴィラタイプの客室で全23棟
- ・各棟にヒノキ風呂を設置
- ・有名シェフが監修する食事が提供される
- ・宿泊者にはニジゲンノモリのアトラクションを体験できる特典付き
- ・1棟62,000円～ 定員2～5名
- ・大人2名や家族連れでの利用が可能



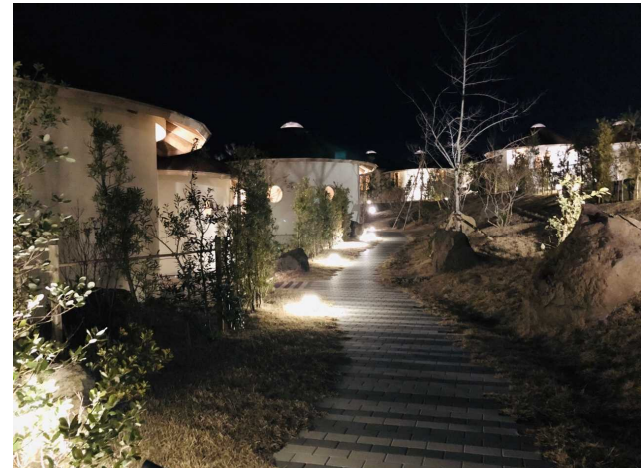
↑ 森林に囲まれ，星や夕陽，朝陽といった自然を感じられる部屋



↑ 淡路島の食材をふんだんに使った料理



↑ 温かみのある管理棟と解放感のあるテラス



↑ 夜のヴィラの様子

淡路島におけるパソナグループの取組

クラフトサーカス

- ・シーサイドマーケット&レストラン
- ・海沿いに建てられており、約100mのウッドデッキで食事と景色を楽しむ
- ・夕陽100選
- ・島内外から集まる工芸品やクラフト雑貨を販売
- ・白を基調とした建物で異国情緒が漂う



↑約100mのデッキテラス



↑異国情緒の漂うインパクトのある入口



↑輸入雑貨など目新しいものも多い



↑夕陽100選の景色が売り

淡路島におけるパソナグループの取組

オーシャンテラス

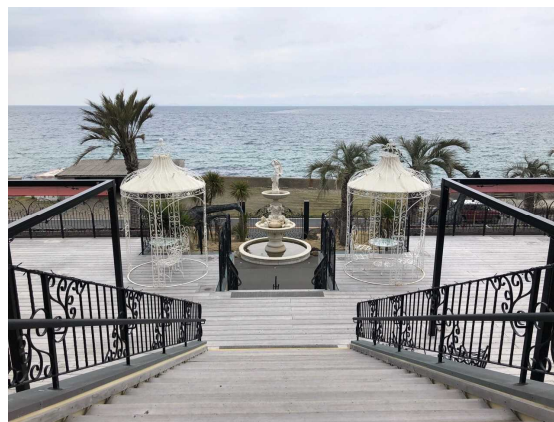
- ・セルフローストスタイル、ビュッフェスタイルの飲食店
- ・オーシャンビューを望みながら食事
- ・テーマ「淡路島の“リゾート空間”」
- ・淡路牛や淡路ビーフ（淡路牛の中でもより質が高いものを指す）をメインに地元食材を堪能できる
- ・高級志向の客層をターゲットとする



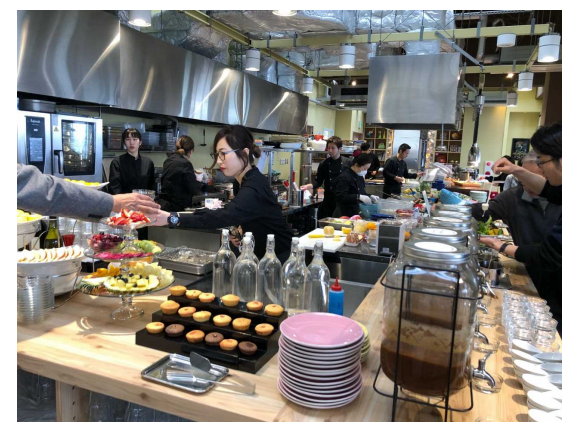
↑ 船で訪れる人を招き入れるイメージで海側に設けられた入口



↑ 希少価値の高い淡路ビーフを提供する店舗



↑ 海を臨むテラスでグリルを楽しめる



↑ オープンキッチンを囲むビュッフェ

淡路島におけるパソナグループの取組

ハローキティスマイル

- ・ハローキティのオリジナルグッズショップ、ギャラリー、カフェや創作オリエンタルレストランが揃う
- ・アジア圏を主とした外国人観光客を誘引するKAWAII文化
- ・女性を中心に若年層に人気



↑ラグジュアリーなカフェ

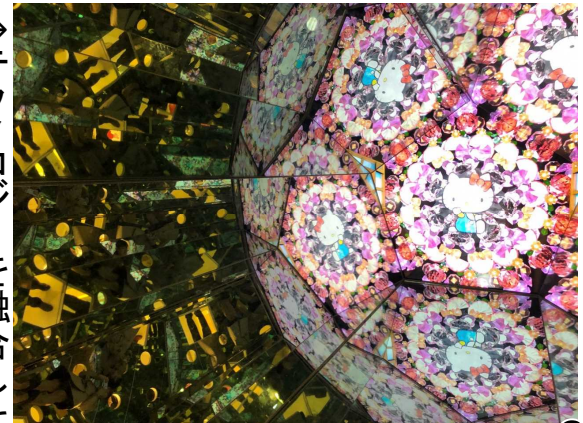


↑多くの人でにぎわうショップ



←インスタ映えする外観

→テクノロジーを融合した
ギャラリー

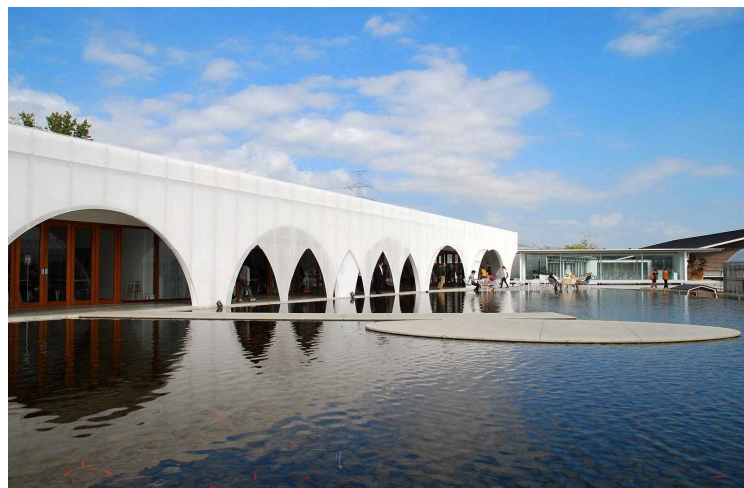


【三重県菟野町】食と癒しがテーマの複合リゾート施設

アクアイグニス片岡温泉

三重県菟野町

- ・ 湯の山温泉
- ・ 老舗の旅館跡地を活用
- ・ 「食」「癒し」
- ・ 施設のテーマ「低コスト×ハイクオリティ」
- ・ 多数のアーティストによるデザイン
⇒フォトジェニック
- ・ 温泉は宿泊の有無を問わず6時～24時まで利用可能
⇒地元利用者も多い



↑フォトジェニックな外観(レストランなど)



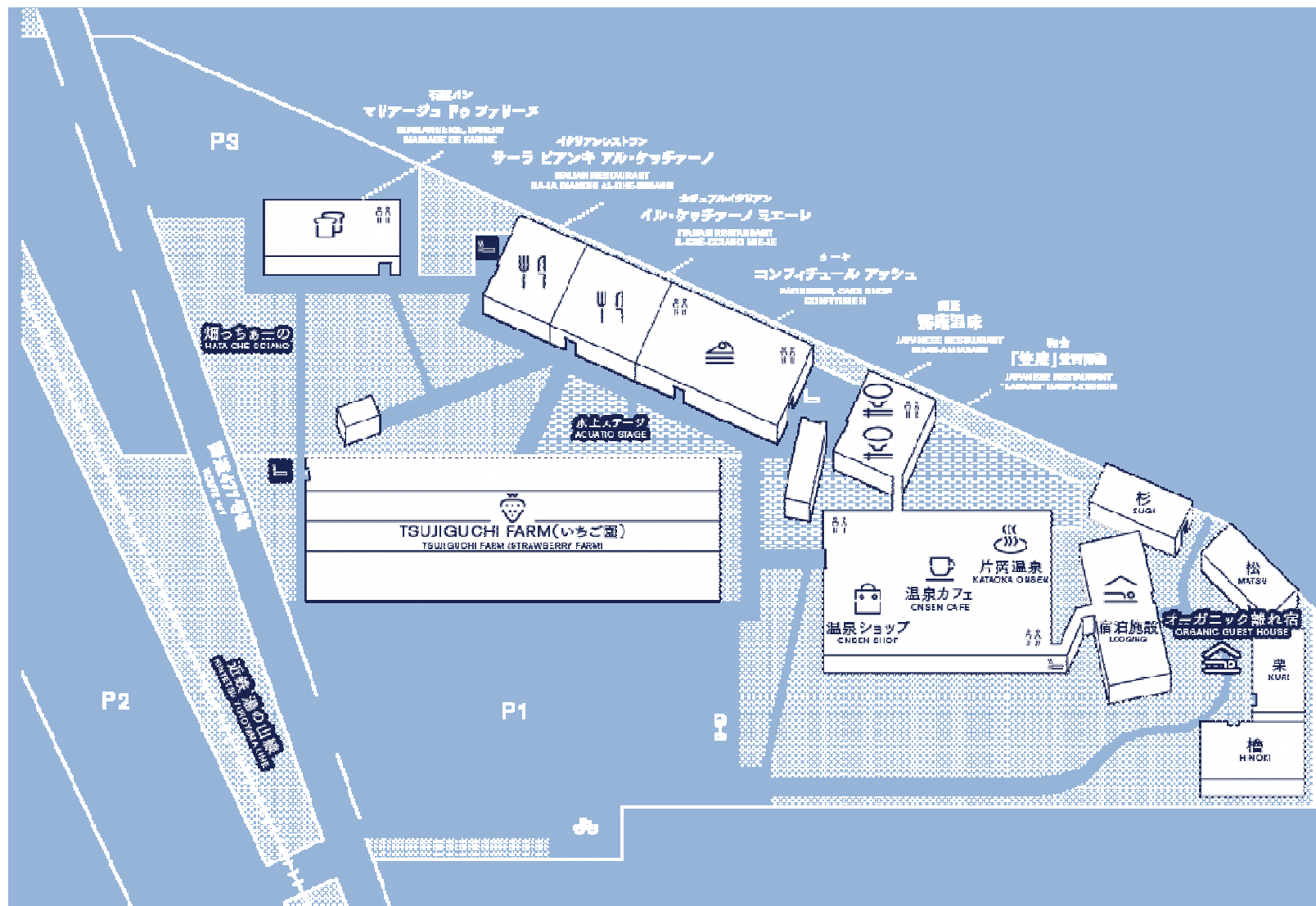
↑シンプルな建築の温泉施設と高速道路



↑竹林の茂る露天風呂

【三重県菰野町】食と癒しがテーマの複合リゾート施設

アクアイグニス片岡温泉



【三重県菰野町】食と癒しがテーマの複合リゾート施設

アクアイグニス片岡温泉

《食》

- ・ カフェ，スイーツ，割烹，イタリアン，ベーカリー
- ・ 有名シェフがプロデュース
⇒ 都心部まで出なくともテレビで見たものが食べられる
- ・ 個室などで高級感のある料理を楽しめる一方で，カジュアルに食事ができる店舗を併設
- ・ 温泉利用と併せて食事や買い物をする方が多い
⇒ 日帰り客が多い



有名パティシエがプロデュースするパンとスイーツ

↓ 地元産の食材など，有名シェフが産地にこだわった料理



【三重県菰野町】食と癒しがテーマの複合リゾート施設

アクアイグニス片岡温泉

《癒し（温泉，リラクゼーション）》

- ・源泉かけ流しの天然温泉
- ・エステサロン，朝ヨガ教室，ルフロ体験

《癒し（宿泊）》

- ・宿泊棟15室，離れ宿4室
- ・宿泊棟は1室8畳
- ・離れ宿は寝室，和室，リビング，露天風呂がある
- ・アーティスティックでデザイン性が高い
- ・「大人のちょっと贅沢な旅」



↑【離れ宿】多様なアーティストによって演出されるこだわりの空間



↑ルフロ（ミネラルミスト浴）



↑【離れ宿】露天風呂の一例



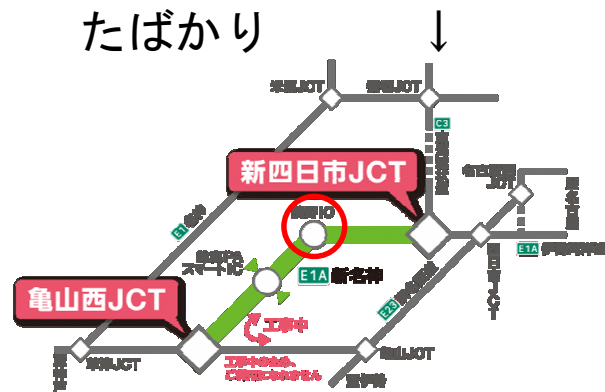
↑【離れ宿】宿ごとに異なるテーマ

【三重県菰野町】食と癒しがテーマの複合リゾート施設

アクアイグニス片岡温泉

○アクセス

- ・ 湯の山温泉駅から
徒歩 8 分
- ・ 菰野 I C から車で約 5 分
- ・ 名古屋から車で 50 分
- ・ 東京から鉄道で 4 時間
- ・ 大型バスでの来場
⇒ ツアー客の呼び込み
- ・ 新名神自動車道は
2019年3月に開通したばかり



近鉄湯の山線

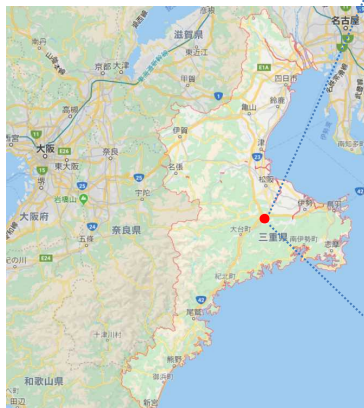
株式会社アクアイグニス of 取組

アクアイグニス多気

- ・ 2020年開業予定
- ・ 伊勢神宮から車で約30分
- ・ テーマ「食と健康」
- ・ 大型複合リゾート地（宿泊，温浴，体験，産直市場，薬草園，果樹園などを整備予定）
- ・ 敷地面積119ha（開発面積71ha）
- ・ スマートインターチェンジ直結施設（民間運営施設初）

- ・ 多気町が美食の町サン・セバスティアン（スペイン）と「美食の町友好の証」を締結

⇒インバウンドの核になるような美食の町づくり



株式会社アクアイグニス の 取組

株式会社アクアイグニス代表取締役 立花社長の考え方

「立地条件」

- **高速道路**を降りたすぐ先に**インパクトの大きな施設**を置くことで、高速道路を通る方々の興味を引き付け、一般道へ降りてもらおう
- **ただ観光施設を開発するのではなく、そこに辿り着くまでのアクセス**（二次交通※1の整備やMaaS※2の活用など）を**考えることが重要**
 - ※1 拠点となる空港や鉄道の駅から観光地までの交通のことを指す。バス、タクシー、レンタカー、レンタル自転車など。
 - ※2 ICTを活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、継目なくつなぐ新たな「移動」の概念。
- 現在の観光旅行における移動手段は飛行機や新幹線が主であるが、2020年オリンピックに向けて開発中の車やバスなどの自動運転が本格的に導入されれば、高速道路に新幹線の駅のような役割を果たすインターが現れ、**高速バス**での移動も主流となりえる

「食」

- 有名シェフによるプロデュース・監修という形をとるのは、**地元の料理人が調理し、提供することが重要**と考えるため
- 地元の料理人は店づくりやレシピづくりなどのノウハウを得ることができ、地元の食材で再現することによりレベルの高い料理を提供することができる

「九州における開発の考え方」

- 北部九州の拠点施設として**小倉～博多**に、南部九州の拠点施設として**博多～鹿児島**にそれぞれ検討したい
- 九州は**食材が豊かな**点が良い
- 立地条件は**高速道路付近**であることと二次交通が整備されていること
- 九州圏内の地元企業が主となって、アクアイグニス が提携して共同開発を行うこと
- 今後の開発地を検討するに当たって、阿久根が一つの候補地として可能性があること